

市民文教常任委員会会議記録（概要）

令和3年11月10日（水）

開 会（午前10時0分）

**【議 事】**

○請願第2号「所沢市の小学校図書館に専任で一校一人の学校司書の配置を願う請願」

矢作委員長

10月28日に請願者の代表から請願第2号の取下げ願いが提出されました。ここでお諮りいたします。請願第2号の取下げ願いについて、了承することに御異議ありませんか。

（異議なし）

御異議なしと認め、請願第2号の取下げ願いについては、全会一致、了承することに決しました。

○特定事件「学校教育について」

・GIGAスクール構想について

**【概要説明】**

中村教育センター担当参事

資料として教職員用、保護者用、生徒用、児童用リーフレットをご覧ください。

GIGAスクール構想は国が立ち上げたもので、1人1台端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現す

るものです。1人1台端末の環境であれば、一斉学習においては、教師は授業中でも一人一人の反応を把握し、子供たち一人一人の反応を踏まえた、双方向型の一斉授業が可能になります。個別学習においては、一人一人の教育的ニーズや、学習状況に応じた学習が可能になります。協働学習においては、一人一人の考えをお互いにリアルタイムに共有し、子供同士で双方向の意見交換が可能になることを目指しています。

「ベネッセ ミライシード・ドリルパーク」は、いわゆるオンラインドリルで、個別最適化の主要なアプリです。Google for Educationには、文書作成アプリや絵を描くアプリなど基本的なアプリが導入されています。school Tak tは授業支援システムであり、子供が端末でどのような活動を行っているのかを教師が把握しながら授業を行うことができ、子供同士の協働学習も可能となります。

令和2年12月末をもって校内LAN整備が終了し、どの教室からもWi-Fiでつないでインターネットへの接続が可能となっています。

液晶ディスプレイや「みらいスクールステーション」については、各教室に55型の液晶ディスプレイを設置して、例えば、教師用端末で子供のノートを、デジカメ機能を使って撮り、それを「みらいスクールステーション」という機器を使って大型ディスプレイに映し出して、みんなでよいノートの書き方を見るなど、さまざまな使用が想定されています。

Wi-Fiルータについては、インターネット環境が整っていない家庭向けにSIMカードを貸し出し、家庭でオンラインドリルを行うことや緊

急事態宣言が発令されて学級閉鎖や臨時休業になった場合にオンライン授業といったセーフティネットとしての意味合いがあります。

遠隔学習用機器は、カメラ・マイク・スピーカーを各学年1セット設置して、家庭と学校でつなぐときに必要なものです。

障害のある児童生徒のための入出力支援装置は、視力障害のある生徒を含めて障害のある児童生徒への支援ができる機器としてそろえました。

「ICTを道具の一つとして使いこなすことで、情報活用能力を育成し、一人一人の創造性と未来を切り拓く力を育てる」ことをGIGAスクール構想の目的としています。情報活用能力はどの教科でも使うもので、ただ単にICT機器を使いこなせるだけでなく、情報モラルも含めて適正に使うための学習の基盤となる資質、能力の位置づけとなっています。具体的には情報を得たり、情報を整理・比較したり、得られた情報をわかりやすく発信したり、必要に応じて保存・共有したりといったことができる力です。子供たちが大人になったときに必要な力のため、大変重要な力と捉えています。

所沢市版情報活用能力の育成に関する系統表を参考に各学校が実態に応じて、技能や情報モラルやソフト、アプリの使用やプログラミング教育を小学校低学年から中学校にかけて高めていきます。

令和2年10月に教師用リーフレットNo. 1を配付、11月に管理職対象の説明会を実施、12月に保護者用リーフレットの配付を行いました。全校の校内LAN整備も終了しました。令和3年1月から校内LAN

の活用と緊急時のWi-Fiルーターの貸出を開始しました。3月に一人一台端末の全校整備が完了し、使い始めました。児童生徒用リーフレットも配付しました。大型液晶ディスプレイや無線対応授業支援機器の整備も完了しました。4月には教育センターにICT教育担当主査1名を任用し、学校への支援を開始しました。6月には教師用デジタル教科書の使用開始予定でしたが、回線状況が悪かったことから、実際の使用は回線が整備された9月からとなり、今は使用頻度が高くなっています。

**【質 疑】**

川辺委員

児童生徒はクロームブック、教師用タブレットはWindowsだが機種が違うのか。

中村教育センター担当参事

機種が違います。

川辺委員

教師がクロームブックの使い方を教える際に不都合はないか。

中村教育センター担当参事

クラウド上のグーグルのアプリを使うので、著しく子供のタブレットと操作性が変わることではありません。一部、慣れるまでは時間がかかるかもしれません。

川辺委員

細かい部分で違うところはないか。

中村教育センター担当参事	<p>多少の違いはありますが、子供に教える意味においては、子供は小学1年生でクロームブックを渡され6年間使って一度返しますが、中学校に入ってからまた新たにクロームブックを借りて3年間使うため、子供たちへの指導という意味では大きな不都合はないと考えています。</p> <p>Windowsである理由は、これまでずっとWindowsが学校だけでなく世の中全体で先行して使用されていて、パワーポイントで作られた教材など教職員がつくった過去の資産を使えるようにすることと、デジタル教科書に対応できるクロームブックがなかったため、Windowsを入れている状況です。</p>
川辺委員	<p>家庭にWi-Fi整備のお願いをしたか。</p>
中村教育センター担当参事	<p>SIMカードとWi-Fiルータを購入しているので貸し出すことができますのですが、12月末で使用できなくなるため、環境整備のお願いをしています。</p>
徳増教育センター主幹	<p>昨年度、Wi-Fiルータを貸し出す際にもあらかじめ保護者に整備をお願いするとともに、すぐに整備が進まない家庭には、「Wi-Fiルータをお貸ししますが、その期限が今年の12月まで」と伝えました。10月末までの間に、学校を通じてWi-Fi環境の整備のお願いの手紙をもう一度伝えました。</p>

川辺委員

経済的に準備できない家庭への対処は。

中村教育センター担当参事

子供の学習保障のため、経済困窮に配慮した対応は検討しています。

浅野委員

一人一台端末での一斉学習、協働学習、個別学習、家庭学習の内容は。

中村教育センター担当参事

一斉学習で個に応じることがこれまでも課題でしたが、さまざまなこれまでの研究、研修の蓄積でいろいろな方法があります。それをさらに促進して school Tak t を使えば、子供たちがどの画面でどのような学習をしているかをとらえることができ、ピンポイントで先生が指導に行くことができるので、個に応じることが可能になります。教師用のタブレットに子供が今見ている画面を全て映し出すことができたり、クリックすると拡大することができたりして、使い勝手が非常によいアプリです。

協働学習についてはジャムボードというアプリがあり、アイデアを出すときに大きな模造紙に付箋紙で自分の意見を貼ることがありますが、ゼロカーボンのためにも、そのようなものを用意せずにジャムボードを用いて、子供たちを仲間分けして、グループの総意を示すような協働学習を促進することができます。

地域に尽くしているお年寄りを総合的な学習に呼ぶのですが、今はコロナでそれができない状況ですが、例えばタブレットをそのお年寄りのとこ

ろに持って行けば、オンラインのやり取りができます。

個別学習については、個に応じた支援を含めてオンラインドリルが有効であり、オンラインドリルは履歴が蓄積されて、子供の学力の状況に応じた問題が提示されます。

家庭学習については、いろいろな家庭学習が想定されます。家庭でもオンラインドリルが使えるので、家庭で自主的にやったり、家庭で調べ学習を課題として出して、インターネットで調べたりすることができます。

浅野委員

今おっしゃった協働学習は何年生からやるのか。

中村教育センター  
担当参事

発達段階を考えなければならないのですが、協働学習は学習指導要領に示されているので、どんどん使って、発達段階に応じて1年生は1年生なりの協働学習にしなければならないと考えています。

浅野委員

先生たちはコンピュータをどれぐらい習得しているか。

中村教育センター  
担当参事

実際に学校で本格稼働したのは2学期からなので、どんどん進めなければいけないのですが、学校で一生懸命研修をしたり、ICT教育担当主査が使い方を教えたりしています。まだまだ苦手な先生もいるので、ギガスクールサポーターがこれから本格的に週に2回ずつ入っていきます。今もすでに動いているのですがICT教育担当主査が全校をまわって活用状

況を調べています。

浅野委員

兄弟がいる家庭の保護者に聞いたが、機器を持ち帰らせる先生と持ち帰らせない先生がいるようだが、そのことは各先生に任されているのか。

中村教育センター担当参事

各学校で基準を設けて、兄弟間つまり学年間で差がないようにやっていたかなければならないことだと思います。

調べ学習が多い学年があるので、あまり差があってはいけないのですが、兄弟が同じように持って帰ってくることも想定しづらい部分があります。

浅野委員

兄弟で一方の子がゲームを入れて持って帰って来て、もう一方の子は持って帰らないので取り合いになるそうだが、どのように考えているのか。

中村教育センター担当参事

遊びに使うことは是正しなければいけない重要な問題です。実際にはフィルタリングソフトによりアクセスできないようにしているのですが、使用が進んで、幾つかの学校から問題提起され、その都度フィルタを追加してかけています。保護者から遊んでいると連絡があれば、学校から教育センターに情報が入ってくるため、調べます。教育センターとしても注意して、ICT教育担当主査がフィルターを新たにかけたり、フィルタリング業者とやり取りをしたりしています。フィルタリングに関しては学校から



情報があれば素早く、遅れることなく対応しています。

浅野委員

ラインを使ったいじめがあるが、学校で配ったコンピュータではないか。

徳増教育センター主幹

ラインなどのSNSと言われているものは、所沢市が子供たちに貸与しているコンピュータでは一切できないように止めています。

川辺委員

新聞報道によるとタブレットのチャット機能でいじめがあって自殺したようだが、その機能の対策はあるか。

徳増教育センター主幹

チャット機能についても、所沢市は初期設定の時点で、すでに止めています。そのニュースを見て、もう一度確認もしました。

川辺委員

1ギガの容量で足りているのか。始めてみて問題点はないか。

中村教育センター担当参事

学校から直接インターネットに抜ける回線が各学校1ギガです。この1ギガは回線を整備するに当たって文部科学省が推奨する値で、1ギガで今のところ問題は出ていません。

川辺委員

新聞報道によると1ギガで始めたら、2、3クラスやると通信が途絶え

るなどの不都合があり、全小中学校を10ギガにしてスムーズになったそう  
うだ。学校の児童生徒の数やニーズが違うが、1ギガについて検証はどの  
ようにしていくのか。

中村教育セン  
ター担当参事 児童数の多い所沢小学校と南小学校は1ギガを2本つないで、その人数  
に対する対応は既にとられているような状況です。新聞報道の通信不良に  
ついては状況を確認しないと何とも言えないのですが、文科省の推奨する  
1ギガで各学校の校内で使っている場合に問題ないとの想定でやってい  
ます。使用頻度も上がっていくので進捗を見ながら、回線は1ギガで大丈  
夫なのかを含めて考えていきたいと思います。

徳増教育セン  
ター主幹 ICT教育担当主査が定期的に学校をまわっています。そのときに回線  
速度についても調べているので、これから使用が増えたときに課題が出た  
場合には、増幅も考えていかなければならないと思っています。

入沢委員 教師のクロームブックの操作能力に差がある。教師が触って勉強するた  
めのクロームブックはあるか。

中村教育セン  
ター担当参事 教師用のクロームブックはないので、現在検討しているところです。先  
生がクロームブックに慣れる、研修するためのものを検討しています。

入沢委員	学年間で差がないようにとの話があったが、学校間の差や統一はどうか。 っているか。
中村教育センター担当参事	学校によつての差があることも現状です。8月に学校から直接インターネットにつなぐことのできる回線が整備され、9月からの本格的な活用で、感染拡大や感染症対策を学校でやっている中で、十分に授業等で活用ができていません。学校間に差があることはよくないことなので、指導していきたいと思っています。
植竹委員	今後は常に授業でタブレットを使うのか。教科書を使用することが主で、一部タブレットを使用するのか。
中村教育センター担当参事	毎時間の授業には必ず子供たちにどのような力をつけてもらいたいというねらいがあります。そのねらいに照らしてICT機器を紙や鉛筆のように道具の一つとして有効活用を考えていかなければならないと思っています。例えば漢字の習熟はノートに書き取ります。そのときの授業のねらいを踏まえなければならぬと呼びかけています。
植竹委員	今後、オンライン授業の実施や環境整備は行ふのか。
中村教育センター	9月当初、オンライン授業について多くの自治体で不測のトラブルに見

ター担当参事 舞われており、本市も同様でしたが、現在は、オンライン授業ができるように対応しています。9月中も感染不安を含めてやむなく登校できない生徒に対して行いました。学級閉鎖になったクラスの児童生徒にもオンライン授業を行っています。現在は、学級閉鎖等はない現状ですが、今後の感染拡大に対応できる状態と考えています。

植竹委員 一斉休校となった場合に自宅で授業を受けることがすでに可能なのか。

中村教育センター担当参事 9月当初の不測のトラブルもそうでしたが、機器のことなのでやってみないと分からない部分がありますが、学校も準備し、児童生徒が家庭にタブレットを持って帰って、先生が教室からタブレットで児童生徒とやり取りすることは、設備上は可能です。

植竹委員 一校につき全ての学級で一斉に行えるのか。

徳増教育センター主幹 全クラスで一斉にということはなかなか難しいと考えています。学年で同じ授業が配信できる場合にはまとめて行い、抜粋して行うことは可能です。配信する側は準備がだんだんと進み、ある程度のことのできているのですが、オンライン配信をしたときに家庭でかなりの通信量を使うという課題が残っているので、1時間目から5時間目まで全て配信することは難しいと思います。

江原学校教育 部長	全クラスが時間割どおりに相互のオンラインでやることはかなり難しく、ハードルが高いと思っています。兄弟が同じ学校に在籍していたときに止まってしまうという報告も他の自治体からはあるので、例えば6時間のうち低学年が1、2時間目、高学年が3、4時間目などと区切らないといけないと想定しています。
天野委員	パソコンの操作が苦手な児童生徒やその家族もいて、勉強の仕方が変わって、戸惑う方や取り残されてしまう方のためにアンケートなどはあるか。パソコンを使えない児童生徒や保護者へのフォローは充実しているか。
徳増教育セン ター主幹	5、6年生については第一回アンケートを10月に実施しました。それを踏まえてやっていきたいと思います。フォローについては、ギガスクールサポーターの主たる目的の一つがオンライン授業となった場合のフォローとなっていますので、活用したいと考えています。学校によっては保護者とともに、午後6時からの学校からのオンライン配信を受けていただく試みを始めているところもあります。
荻野委員	長期間不登校の方の端末は家庭に持ち帰られているのか。
中村教育セン	貸与しているので、その方の家庭にあります。

ター担当参事

荻野委員

自宅で個別学習ができて、今までできなかったサポートもできると思う  
がいかがか。

中村教育セン

ター担当参事

ビデオ通話ができるようになったことは、今後いろいろな可能性がある  
と考えています。教育センターでの研究段階で実施に課題はありますが、  
例えば教育相談などの可能性があります。

荻野委員

そのようなサポートにより不登校の児童生徒の変化は感じているか。

中村教育セン

ター担当参事

実際には、ビデオ通話等で教育相談を行っていないので何とも言えませ  
ん。教育センターでは不登校段階を15段階で評価していますが、それを見  
極めて、貸与したことで、ますます家から出てこれなくなってしまう  
児童生徒も出ることなども考えられるので、しっかりと研究しなければな  
りません。今のところ変化は特にありません。

江原学校教育

部長

子供たちが学校に来られない、または相談室や保健室に来て、そこから  
教室の様子をうかがって、行ける授業だけ行ってみるというステップがあ  
りますが、相談室から教室へというハードルがあり、これまでは廊下から  
見る、行けるところだけ行ってみる、体育で子供たちがいない教室に入っ

てみることなどがあったのですが、オンラインで見ることによって相談室に行って自分のクラスの様子を見ることができるので行ってみようかなという取組も全校ではないのですが出てきていますので、このことについてもこれから研究していかなければならないと思っています。

植竹委員

Wi-Fiルータを12月まで貸し出すことは所沢市の独自の判断か。

中村教育センター担当参事

独自の判断です。

植竹委員

その判断の背景は。

中村教育センター担当参事

機器の契約の期間が1年単位でした。

植竹委員

今借りている方のWi-Fi環境は12月で途絶えるのか。

中村教育センター担当参事

借りている方には「12月で契約が切れるのでインターネット環境を整えてください。」と案内しています。当時は緊急の対応だったので調査して入れたのですが、12月以降については家庭の経済状況などによりインターネット環境を整備できないということを確認し、判断した上で、必要

な家庭に対して対応できるように検討しています。

植竹委員

12月以降にインターネット環境を整備できないことについての吸い上げを現在行っているのか。

中村教育センター担当参事

家庭でのインターネット環境が基本インフラのようになっているので、困窮しているか直接保護者に聞くと失礼になります。1月になってから家庭学習を進めていこうという段階になったときにインターネット環境を整えられなかった家庭が分かるので、その段階での保護者の対応方法を検討しています。広く環境を整えられますかとなると、もしかしたら経済的にそこまでではないけれどというところもあるので、市の財政のこともあるので本当に必要な家庭にと考えています。

植竹委員

貸し出している世帯はいくつか。

中村教育センター担当参事

貸出しをしている児童生徒は480名です。

江原学校教育部長

近隣の自治体でもWi-Fiルータを貸し出していないところもあります。Wi-Fiルータだけを貸して、SIMカードは家庭でと言うところもあります。予算との関係もあるので市として考えていきたいと思っています。



ます。

浅野委員

今後、不登校の子供に専用のオンライン授業をする予定はあるか。

中村教育セン

将来の社会的自立を目的として不登校支援をしています。一人一人にこ

ター担当参事

のようなこともできるとこちらから提案してしまうと、本当はもう少し気持ちを高めて頑張れば一歩踏み出せるのに、そこで満足してしまうなどの心理の問題も出てきます。教育相談室では臨床心理士が見極めつつ、集団活動に参加することや、それが難しければ集団活動をのぞいてみるなど、非常にセンシティブな微妙な判断でやっているのです、それがその子の成長にとって有効であれば考えていく必要があると思っています。

矢作委員長

この際、委員として質疑したいので、副委員長と交代します。

天野副委員長

それでは、委員長の職務を行います。

矢作委員

今の時点での課題は。

中村教育セン

ギガスクールサポーターがこれから本格的に週2回学校に入ります。最

ター担当参事

終的には子供たちに紙や鉛筆と同じようにICT機器を必要なときに使う力を身につけさせなければならないため、教職員のICT活用能力の向

上が現在の一番の課題と捉えています。

矢作委員

先生もクロームブックを使いたい要望もあるようだ。転出、転入の際に教育センターに返さなければいけない、取りに行かなければいけない。学校に台数の余裕があれば学校で対応できるが、現状はそうでないようだが検討しているか。

中村教育センター担当参事

もともと教師用タブレットはクロームブックが入る前に児童生徒用だったタブレットを教師用に設定を変えて有効活用しています。このことが主目的ではないのですが、パソコンルームで使う児童生徒用のものとして整備したものを教師用にして現在使用しています。教師用のクロームブックは、予算がかかることですが検討しています。

内田教育センター指導主事

転出、転入分の台数については、現在は教育センターに余りのタブレットがありませんので、一度学校から持ってきていただいて、センターを経由して次の学校に渡しています。故障もかなり多いので、学校に予備を置いておくとうまく回せないため、教育センターで一括管理しています。

矢作委員

故障やトラブルは保険で対応したのか。

内田教育セン

夏休み明けに、かなりの台数が故障として教育センターに運ばれてきま

ター主事	したが、そのうちのほとんどがキーボードの不良や初期不良でした。業者へ修理に出して戻ってくるのですが、今のところ1年間の保証の範囲内でできています。
矢作委員	9月以降W i - F i 環境は問題なかったか。
中村教育センター担当参事	9月から各学校から直接インターネットに接続できる回線ができたので、使用に問題があるとの報告はありません。
矢作委員	使用のルールはいかがか。
中村教育センター担当参事	子供用のルールとしては、児童用リーフレットN o . 2に記載のとおりです。
矢作委員	使っている中でいろいろ出てきてもう一度確認することなどを教育センターから発信しているか。
中村教育センター担当参事	いろいろな事象が少しずつ出てきているところですが、その度に教育委員会からルールを発信することはなかなかできないので、取りまとめて来年度に向けて文書化するなどを当然のことながらやらなければいけないと思っています。このような事象の概要は、文書化しないまでも校長会な

どでお知らせするなど、適宜対応しています。

矢作委員

長時間の使用や依存やいじめの問題はどのように検討しているか。

中村教育セン

情報活用能力の育成に関する系統表に情報モラルが入っていますが、各

ター担当参事

学校で系統的に行っています。保健体育や技術家庭の教科書には健康被害の学習があるので、そのようなところでの充実を図っていきたいと思います。

矢作委員

今後のスケジュールは。

中村教育セン

最終的な目標は子供たちのICT活用能力を高めることであり、それに

ター担当参事

向けて教職員のICT活用能力を高めることを進めています。今年度中に導入されたソフトウェアや大型ディスプレイなどの機器の基本的な使い方、ギガスクールサポーターと教育センターが協力しながら習得させていきます。苦手な教職員に対する提案や、できている教職員にはさらに高いレベルでICTを活用した授業ができるようにと考えています。

天野副委員長

それでは委員長と交代します。

**【質疑終結】**

散 会 (午前11時18分)